

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
 ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

医療用麻薬について知ろう！

みなさんは「医療用麻薬」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか？



Q. 麻薬を使うのは末期のがんだけでしょ？

A. がんの初期から麻薬を使用することもあります。がんに限らず、手術中・術後の痛み、慢性の痛みなどにも使用することがあります。

Q. 医療用麻薬を使用すると麻薬中毒者になってしまう？

A. 痛みのある人が麻薬を適切に使用すれば、麻薬中毒は起きません。麻薬中毒者になってしまうのは、痛みのない人が麻薬を使用する場合のみです。

Q. 医療用麻薬を使用すると寿命が縮む？

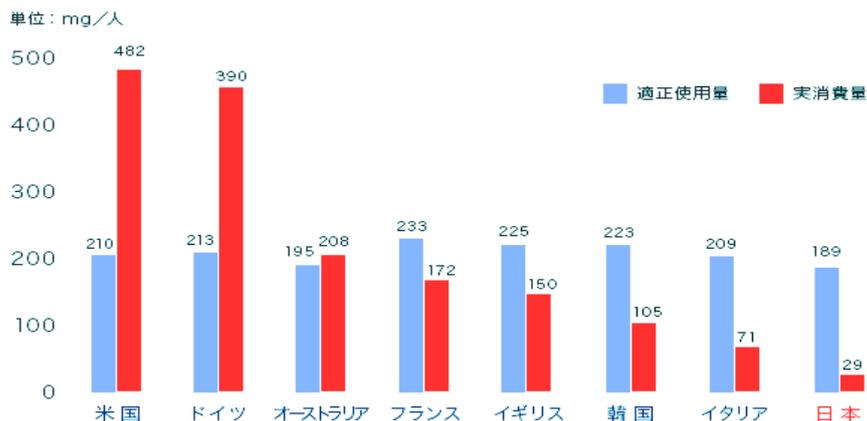
A. 麻薬の使用で痛みが和らぐので、十分な睡眠がとれるようになり、食欲が増すので栄養状態が改善され、新たな治療や検査が受けられるようになります。むしろ延命に繋がるのが期待されます。

Q. だんだんと医療用麻薬が効かなくなる？

A. 長期間の麻薬の使用で、鎮痛効果がなくなることはありません。使用していても痛みを感じるようになったときは、主に痛み自体が強くなっている場合です。麻薬を増量すれば痛みを和らげることができます。



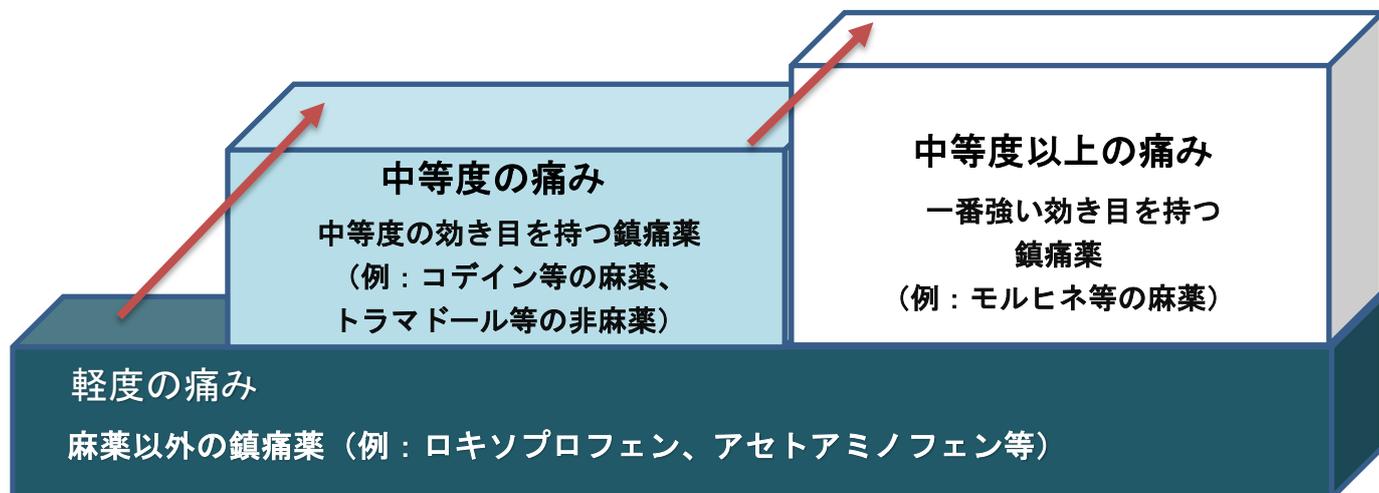
世界の医療用麻薬の適正使用量と実消費量



日本は諸外国と比べて、医療用麻薬の使用量が圧倒的に少ないです。日本では麻薬に対するイメージが悪いので、普及が遅れています。日本人は痛みを我慢しがちですが、我慢する必要はありません。

痛みの強さに合った鎮痛薬を選択する

WHO（世界保健機関）は痛みの強さに合った鎮痛薬を段階的に選択するように取り決めています。まず軽度の痛みに対し、麻薬以外の鎮痛薬を選択します。これで不十分な場合、次の段階として中等度の痛みに対し、中等度の効き目を持つ鎮痛薬を選択します。それでも抑えきれない強度の痛み（中等度以上の痛み）に対し、一番強い効き目を持つ鎮痛薬を選択します。



医療用麻薬の副作用

医療用麻薬を使用すると主に便秘、眠気、吐き気の副作用が現れることがあります。このような症状が現れたら、医師、看護師、薬剤師等の医療スタッフに伝えてください。それぞれの副作用に対策を講じます。

副作用	対策
便秘	・ 下剤（例：酸化マグネシウム、センノシドなど）の使用 ・ 水分や食物繊維を積極的に摂取する
眠気	・ 医療用麻薬の投与初期に現れるが、ほとんどの場合対処不要（自然に治まることが多い） ・ 麻薬の量を増やすと再び眠気が現れるので、不快だと感じたら減量することもある
吐き気	・ 医療用麻薬の投与初期にしばしば現れるが、自然に治まることが多い ・ 必要に応じて吐き気止めの薬を1～2週間使用することもある

★治療中に痛みやつらさを感じたら、一人で悩まずに、まずは医療スタッフに伝えることが重要です。日々の痛みやつらさ等の日記をつけて、その日記帳を医療スタッフに見せることで、患者さんのQOL（生活の質）が向上することが期待されます。

また、がんなどの痛みの治療中の患者さん向けに日記帳以外にもスマートフォンやタブレット端末、パソコンなど無料でご利用いただける、「つたえるアプリ」というツールもあります。気になる方は以下のサイトをご覧ください。



がんのつらさ～つらさ聴いてつたえて～

<http://www.shionogi.co.jp/tsurasa/communicate/merit/application/>

ご不明な点やご質問がございましたら、お気軽に薬局へお問い合わせください。

参考文献：痛みで悩む患者さんのために 大日本住友製薬株式会社
医療用麻薬を正しく知るために シオノギ製薬

文責：いちご薬局実習生 池田詩央

